

週報 第3081回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 眞理子
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章

例会場 ホテルレイクアルスターホテル津市泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

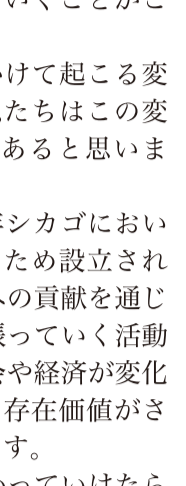
事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2020年9月4日)

- **プログラム**
「私の履歴書」
松内 俊夫 会員
小野寺 巧 会員
- **次週のプログラム**
9月11日： クラブフォーラム
寺田 敏也 社会奉仕部門理事
- **今後の予定**
・9月18日： 卓話担当 渡辺 万寿 会員
・9月25日： 卓話担当 飯野 信 会員
- **祝 誕生日**
なし
- **今月のロータリーソング**
奉仕の理想
- **先週の例会**
会長の時間

今日は、ガバナー公式訪問となりました。藤井ガバナー、谷ガバナー補佐おおいでいただきありがとうございます。また、メンバの原さんの経営される施設でクラスターが発生。みなさ



白谷 喜世彦 会長

んも心配していることと思われます。現在の状況がわかる毎日新聞の取材の記事をいただきました。本日メルポックスに入らせてもらいました。対応の全力をつくされている様子がうかがえるとともに感情的なまわりの対応に苦慮されていることがうかがえます。また、原さんからは別に連絡をいただき、ご本人は元気ですが状況が落ち着くまで出席はできない旨連絡をいただいております。みなさまよろしくとのことでした。このコロナ、第二波はそろそろピークアウトではという声もありますが、まだまだわかりません。あから多いといえは、このコロナはまだ分からないことが多いようです。

とくに医学的にはわからないので数字的なことでいいですが、いまコロナ日本で6万5千人の方が感染、1200人の方が亡くなっています。感染率は0.05%、1万人あたり5人、泉大津では感染76人、感染率0.1%、1000人に1人、死亡者1人。今年のインフルエンザは約700万人、例年は1000万人-1400万人で死亡は3000人。日本の年間死者140万人、ガンで37万、老衰11万、交通事故4500人、不慮の事故9600人。

このコロナおそろく、ワクチンができていなくてもこれくらいはらくもしくははずつとある病気をとれて残つていく可能性はたいてい聞いています。そして考えを誰かにコロナは死亡率の高さからいうとどうですが、感染数からいうとリスクの高さからいうとどうかなんでいう。

いま、日本ではコロナを恐れて、経済をとめて生活を止めてコロナを避けることによって感染拡大を防ごうとしていますが、そのために多額の公費が投入され続けています。しかし、短期で解決するならそれもいいかもしれ

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3081回

ませんが、中長期となることで濃厚となってきた現在それはいかかならぬでしょうが、実際財源も尽きてきていて聞いています。

初めからロックダウンせず、経済活動を止めず、個人レベルでの感染防止をしてきたスウェーデンは、当初死者が多かったものの、いまは日常でマスクもせず死者も0となっているそうです。

今後おおいでいただきありがとうございます。また、メンバの原さんの経営される施設でクラスターが発生。みなさ

このコロナの一番の問題は私たちにとって一番大事な絆、つながりを断ち切る病であり、経済活動をとめ財政面、経済面からの危機、ひいては命を奪う病のような気がします。

この現実を冷静に受け止め、対応していくことがこれらから必要だと思います。

そして、コロナはこれらから10年以上かけて起こる変化をわずかな数か月でおきました。私たちがこの変化にしっかりと対応していく必要があると思います。

ロータリークラブというのは、1905年シゴゴにおいて仕事のための絆づくり、相互扶助のため設立されました。その後者から地域、社会への貢献を通じて社会のリーダーとして社会を引っ張っていく活動を経てきた。絆が断たれ、社会や経済が変化してきているからこそ、ロータリーの存在価値がさらに高まってきていると確信しています。

みなさんと一緒にこの変化に立ち向かっていけたらと思います。またこのような考え、活動に参加してもらえらる会員の拡大ははかっていると思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

幹事報告 小門 茂樹 幹事

○本日、藤井ガバナーより、プリアンプドフラワーのプレゼントをいただいております。事務局の方に飾らせていただいております。

○特殊切手「日本のロータリー100周年」の発行のお知らせです。興味のある方は幹事までよろしくお願致します

委員会報告

8月26日(水)の献血ありがとうございました。15名の会員の応援とたくさんの商品のご提供いただきました。献血結果ですが、採血受付数72名、採血数合計61名でした(寺田 敏也 社会奉仕部門理事)

ピジター

ガバナー 藤井 秀香 様(岸和田東RC)
ガバナー補佐 谷 宗光 様(和泉RC)

出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
8/28	35名	8名	—	81.40%
8/7	34名	9名	4名	88.37%

メークアップ

榎本(8/17 ワールド大阪ロータリークラブ)
丹藤(8/19 和泉RC)
寺田、飯野(7/31 会員増強委員会)

ニコニコ箱

・本日はガバナー公式訪問ありがとうございました(白谷)
・本日は藤井ガバナー、谷ガバナー補佐、お忙しい中ありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します(小門)

・先日のお血はお疲れ様でございました。当日業務の為参加出来ず大変申し訳ございませんでした(小門)

・藤井ガバナー様、谷ガバナー補佐様、本日はお越し頂きありがとうございました。どうぞ宜しくお願い致します(山本(博))

・藤井ガバナー、ようこそおいで下さいました。皆勤賞の御礼(中)

・藤井ガバナー、御書いじようこそお越し下さいまして有難うございます(釜野)

・藤井ガバナー、本日宜しくお願い致します(吉本)

・献血事業に御協力いただきありがとうございます(高寺)

・皆勤賞ありがとうございます(深井)

・皆出席ありがとうございます(丹藤)

・皆出席ありがとうございます(小門)

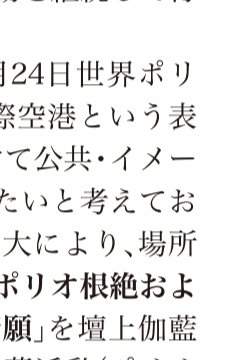
・がんばれ小門君(上田)

・先週欠席のおわびです(川端)

ニコニコ箱合計	29,000円
累計	174,000円

祝 誕生日

杉本 憲一(31日)



先週のプログラム

ガバナー公式訪問



国際ロータリー第2640地区
2020-2021年度
ガバナー
藤井 秀香 様

1月、アメリカのサンディエゴで34地区のガバナーエレクトとガバナーになるべく研修を終え、ドイツから初めてのRI会長ホルガー・クナークのテーマをお聞きし感動し帰国いたしました。さあこれから3大セミナーの準備に取り掛かるうとした矢先、新型コロナウィルスの感染拡大が世界を駆け巡りました。

駆けてくるこの健康と安全が最優先と考へた地区クラブリーダーの皆様との「地区チーム研修」を開催するとは想像できなかった。[PETS][地区研修協議会]は映像と冊子の配布による代替となりました。

できれば、対面してface to faceでとり行いたく、決定が遅れたこととお詫び申し上げます。

地区大会も来年の3月27日・28日に延期することに決定いたしました。

新しい日常 ニューノーマルが始まっています。新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言が解除されましたが、過去最多の感染拡大が毎日のように報告されています。経済活動と感染防止の両立の難しさです。

同期のガバナーとオンライン会議を定期的に執り行っています。大変な時にガバナーになったという声も聞かれました。

ピンチはチャンス！(谷深ければ山高)です。人間、生きているいろいろな事があります。陰と陽 痛みやめいれを経験しなくてはならない。人を傷つけたり、愛で包む事も出来るんです。ここにいらつやける皆様も、何らかの痛みを抱えて生きていると思います。お仕事の事 お身体の事 家族の事。全て順風満帆だと言う方はいらつやいませんか？

私は辛い事が起こると感謝するのです。これでまた強くなるかと。"おかげさまで。"悲しい事があると感謝するのです。これで人の悲しみがよく解ると。"ありがとう。"辛い事も悲しい事も乗り越えて生きる事が人生だと言いつけるのです。自分自身に、そうするとふとと案になるのです。こう

「ガバナーアドレス」

思えるように、ロータリーが私を育てて下さいました。

私共の岸和田東RC、友好クラブ 東日本の福島の郡山アーバンRCに被災後クラブから、参りました。大切な家族や財産を失った人達のお話を聞きました。御坊さんと神父様が弔いに現場を訪れた折「神も仏も無い」とおっしゃったそうです。ニュースの画面から、知ることのできることを知ることが出来ました。

私のクラブから姉妹クラブのフィリンディントロムRCの共同事業で何回か子供達に逢いに参りました。貧しくて辛くて。でも目はキラキラ輝いて笑顔が、石垣の崩れた熊本城も顔に焼き付いています。

ロータリークラブに入会してはいない、と体験できませんでした。私の苦しみや悲しみは、たいした事じや無いのです。どんなときにも乗り越えられる。強さを与えていただき、人に寄り添う事ができるよう教えて下さった、ロータリークラブに恩返しをしよう、とガバナーの大役をお引き受けしました。

青少年奉仕で学んだ事を若い世代に送りたい。恩返しと恩返り。生命の尊さ、はかなさを実感し、今あり自分の「おかげさまで」感謝して、ロータリーを通じて世界で良いことをしたいと思っています。

2020年10月に日本にロータリークラブが誕生して100周年を迎える記念すべき年に、ガバナーを拝命いたしました。日々重責の重さを感じております。

RIの会長のテーマ ホルガー・クナーク(ドイツ)

「ロータリーは、機会の扉を開く」

クナークRIの会長は、現会員を維持しクラブにふさわしい新会員を募る。ロータリーは時代と共に変わらなくてはならない。ロータリーや若者や職業人、そして多くの女性の視野と経験でロータリーに新しい風を取り入れなければならない。少くなくとも年に一度、戦略立案会議を開き、5年後のクラブの姿を認識すべきである。ロータリーは、単にクラブに入会するということだけでなく、無限の機会を与えてくれる。奉仕の機会の扉を開いてくれる。私達のあらゆる活動がどこかで、誰かの為に機会の扉を開いています。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3081回

私の思いのたけを込めた 2640地区のスローガン『ロータリーと共に誇り高い奉仕の扉を開こう』

今ある自分のおかげさまで感謝して提供を求めらるに誇り高いロータリーの友と共に奉仕の機会の扉を開こう

幸せを感謝して、幸せのお裾分けをしましょう。

新型コロナウイルス感染拡大を受け世界中のロータリアンが何らかの影響を受けています。世界中の人達が見えないウイルス、敵と闘っています。新型コロナウィルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され誰も通常とは全く違う生活を送る事を余儀なくされ、例会も数人の会合さえも許されない事態となって、例年4月5日と、例会が休会されていたクラブも多かったです。日本では日本国緊急事態宣言が解除されるまでになりました。

7月31日のデータですが、感染者数や(1716万人) 死亡者数約67万人、世界経済の経済損失最大8兆8000億ドル、世界のGDP9.7%押し下げ、失業者最大2億4210万とジョンズ、ホプキンス大学が集計を出しています。

日本経済は17日、戦後最悪の落ち込みで4ヶ月期のGDPは27.8%減少しました。これより早く悪い結果が出ました。ただし、それ以降(ポストコロナ)の時代は今までと違う「新しい生活様式」が待っている。今回の経緯でITリテラシーは確実に進化したが、それ以外に日常生活が大きく変わるだろうと言われています。

私の年度はボリオ根絶に力を入れたいと思います。

世界保健機構(WHO)は新型コロナウイルス感染症予防策として、2020年3月26日付けのガイドラインで大規模なワクチン予防接種キャンペーンを停止する様に指示しました。それを受けて4月だけで4000万人以上の人が失速が、ボリオワクチンの定期予防接種の機会を失ったと知りました。後少しのところで求めているのにコロナの更なる影響が懸念されます。子供達と約束したのだから、守らなくてはなりません。

そんな中、国際ロータリー会長から届きました。私は毎日4時に起きてメールをチェックいたしますが「WHOが認定された」地域の報告です。ロータリー会員は、徒歩、ボート、自転車、車による数百万人も

の保健ワーカーの移動、紛争地帯や政情不安地域の子供にワクチンを投与するための画期的戦略など過去20年間の世界中のロータリアンとパートナー団体と共に誇りを持って行っています。残る2つのボリオ常在国で打ち勝つまでは活動を継続して行かなくてはなりません。

私がデジゲネントの時から10月24日世界ボリオデーに、私共の地区には関西国際空港という表玄関があります。インターク、プースを設けて公共イメージ向上も兼ねてボリオ根絶を訴えたいと考えておりました。本年度は、高野山に感染拡大あり、場所を世界遺産の高野山に変更して、「ボリオ根絶および新型コロナウィルス感染終息祈願」を壇上パフォーマンスで行い、IAC、RACによる祈願活動(ボリオ紹介チラシ付きマスクの配布・ボリオ根絶のための募金活動)を実施したい。それには、高野山IRCのご尽力をお願いしたいです。メディアにも情報発信したい。

インドにボリオワクチンを投与するプロジェクトも考えておりましたが、これは実施できそうにもありません。

私の年度の予算ですが、ロータリー財団年次基金寄付総額は210万円と変わりありませんが一人あたり 年次寄付金 200ドル→180ドル ボリオ寄付金 10ドル→30ドル

ボリオ根絶は国際ロータリーの最優先活動です。ボリオの割合を増やさせて頂きました。

ボリオを根絶する5つの理由

- ①生活の向上
- ②未来への投資
- ③医療費の削減
- ④女性健康の向上 命を守
- ⑤歴史をつくる

2017年に採択された、ビジョン声明

私達は世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取りあって行動する世界を目指しています。ロータリーの中核的価値観

親睦 高潔性 奉仕 多様性 リーダーシップ

6つの重点分野(本年度から7つになります)

母子の健康 母性の健康 環境の保全 地球経済の発展 疫病との戦い (教育の支援)

4つの戦略的優先事項

より大きなインパクトををもたらす

「世界を変える行動人」は問題を効果的に解決します。

「世界を変える行動人」は、互いに刺激し合い

ンスピレーションを与え合います

：参加者の積極的な関わりを促す

：世界を変える行動人は、人々のニーズを理解しようと努めます。

：適応力を高める

：適応力を高める 行動人は、独創制があり起業家精神に溢れ困難に挫けません。

ロータリーの公式標語

超私の奉仕

最も多く奉仕するもの最も報いらる

ガバナーの基本方針

：魅力ある生き方としたクラブが作れる様、各クラブに戦略計画委員会を設け、3年・5年後クラブの姿を思い描き、これを立てていく。

：危機感を有する先を読み、クラブの現況を数値化して、データ分析し戦略計画を立てるよう指導する

：地区の様にクラブ研修リーダーを任命し、例会の少しした活動を利用してロータリーについて勉強していただくよう指導したいです。

：地区やクラブの強み、弱みを知り目標設定や行動計画を準備する。

：情報や資料、リソースを活用し、ストーリーを通して心に訴える事でインパクトを与えたいです

：直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニと地区戦略会議を開催する。

：地区ビジョンを見直す。

：RLIは実施いたします。次期会長・幹事予定者は出来るだけ受諾して頂きたいです。

：インターアクの研修旅行は、開催できるかどうか(13クラブ)解りませんが、開催されても国内で実施します。

：ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)は世界遺産、高野山で若い世代のリーダーを育成・発掘、心を育てます。

(私は、小さなお頃から何回も高野山に参っております。ある時四国88箇所参りをして、御朱印帳を求めました。西国33箇所、お不動さん参りを終えました。無事に満願成就されました。)

多くの歩みお遍路路にも手を合わせました。人間一生に一度は、手を合わせることが出来ると思います。目に見えない身体を磨いてもらいます。そして人として育て、リーダーシップを身につけて欲しい。

青少年の皆様が高野山で手を合わせ、お陰様の感謝の気持ちで、つちかいて、欲しいと思います。

：女性会員クラブゼロ

各クラブ純増1名

ロータークラブ・若い会員・女性会員の増強

地区、クラブの運営及び活動方針

1 例会の充実 (例会においてロータリー人生を学ぶ。特に学びの多い例会)

2 会員を増強して、純増を達成(若い会員、女性会員)

3 ローター情報速やかな伝達・提供

4 ローター・クラブセントラル Rローターへのチャレンジ

マイロータリー 全員活用

5 ローターの友への投資

6 親睦の多様化(同好会を立ち上げる)

7 地域から知られるロータリーと公共イメージ向上

8 職業分類調査を実施し実情に沿った会員基盤を築くための取り組み

(一業種一人の考え方は無くなりましたが、他業種の集まるクラブという発想)

9 地元発展に関わる活動

10 青少年の未来を明るくするための活動。

インタークト、ロータリーと地域社会の奉仕プロジェクトを計画

11 地区財団活動基金(DDF)の活用 グローバル補助金を活用した海外での活動

12 ローター財団寄付金 米山記念奨励会寄付金の目標を全員達成

13 公開例会の実施 (外部からの卓話講師をお願いしたい時など、一般の方にも声かけ)

14 地区大会への全員参加 国際大会への参加

15 クラブのあるべき将来像の計画・立案等の推進

献血事業

2020年8月26日(泉大津献血推進協議会主催)

・献血受付数 72名

・献血数合計 61名



泉大津ロータリークラブ共催

令和2年8月26日(水)に泉大津市役所で献血が行われました。

毎年2回(8月、1月)に行われており、今回1月に初めて泉大津ロータリークラブが共催としてお手伝いし、今回が二回目でありました。第一回目の共催から、献血が飛躍的に伸びており、第二回の今回はコロナウイルスの影響や猛暑で、献血数の低下が心配されましたが、72名の方々の献血受付がありました。

多くのお礼品の御提供を頂いた会員の皆様、又、当日会場に駆けつけて頂いた14名(白谷会長、中直前会長、高寺会長、八木会員、川上会員、藤原会員、釜野会員、根尾会員、藤野会員、上田会員、杉本会員、川端会員、吉本会員、細川会員の皆様、ありがとうございました。

今後も社会奉仕活動における献血事業御協力よろしくをお願いします。

社会奉仕部門理事 寺田 敏也

令和2年「献血」後援

会員名(敬称略)	品名	数量
杉本 憲一	ピロケムス(2枚入り)	30セット
川端 徹	手ぬぐいのハンカチ	5枚枚
西田 征郎	合わせ ハーフケット	10枚枚
山田 和成	子供用布マスク(3枚入り)	20セット
外山 正明	ゴディバ 各種クッキー	40セット
藤田 万寿	ウエストウォーマー(暖か脱着当)	6枚枚
泉大津ロータリークラブ	タオルペーパー(200枚入り)	60個
	大粒ウェットタオル(60枚入り)	60個
寺田 敏也	ウェストウォーマー	6枚枚
	ハーフケット	1枚枚
	敷毛布(アクリル)	2枚枚
(午後追加)	ウルマイヤー ハーフケット	1枚枚
()	マイナー ミニクッション	12個
()	ひざ掛け	18枚枚



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3081回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか